

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

No.20 2021年8月30日 JR東労組

中央本部

8・30集会を開催



中央本部では、美世志会・上原代表から、なぜ 8 月 29 日、30 日に集会を開催するのか、2002 年 11 月 1 日当日のこと、当時の職場や家族のことなど、話していただきました。

344 日間勾留されている間、家族会が結成されて家族を支えてもらったこと、美世志会としてたたかい続けてこれたのは、仲間・組織に守られてきたからだと言われました。

また、当時、取り調べで「平和運動なんて生意気」「外から壊せないから内から壊す」と言われ、えん罪が作り出され、JR 東労組組織に攻撃が掛けられましたが、平和・人権・民主主義を守るために、外部の方々も含めて連帯の輪をつくり出し、広めてきました。

いかなる時も、労働者を守らない、労働者を弾圧するものとは、労働者として団結してたたかっていかなければならないことが強く訴えられました。

上原代表の話を聞き、当時を振り返りました。そして、現実から目を背けることなく、仲間とともに、組合員と家族の雇用と利益を守るために、美世志会を裏切り分裂していった者たちを許さず、堂々と JR 東労組運動を展開していくことを確認しました。

「えん罪・JR 浦和電車区事件」から 11 月 1 日で丸 19 年を迎えます。事件を風化させることなく、このたたかひの教訓を活かし、職場からの挑戦で JR 東労組運動を強化していこう！

なぜ、8・30集会？

2002 年 11 月 1 日に「えん罪・JR 浦和電車区事件」が作り出されました。そして 2007 年 7 月 17 日の第 60 回公判で美世志会に「7 名有罪」と不当判決が出され、即日控訴しました。その後、会社は刑が確定していないにもかかわらず、2007 年 8 月 29 日、30 日に懲戒解雇を発令したのです。

この不当な弾圧を許さない職場活動をつくり出すために、8 月 29 日、30 日に各職場において集会を開催してきました。

**組合員の雇用と利益を守るため、美世志会と共に
職場活動を強化し、組織強化・拡大を実現しよう！**